

事業計画・予算等を可決承認

令和4年第1回通常総会開催

令和4年2月28日、日赤会館会議室において令和4年第1回通常総会が開催された。議決事項として、令和4年度事業計画ならびに予算等について審議され、議決事項29議案がいずれも可決承認された。

保険者支援の充実・強化に努める

さらなる取組強化に向けた連携を

開会のあいさつに立った本会の中芝理事長は、国において、

全世代型社会保障制度の確立を目指し、さまざまな改革が進められている一方、国保連合会においても、厚生労働省・支

払基金・国保中央会の三者で、
昨年3月に公表した「審査支払機能に関する改革工程表」に沿

つた改革を実行していくため、「審査結果の不合理な差異の解消や、審査基準等の全国統一化に向けた取り組みを進めておる」と言及。「国保連合会を取り巻く情勢の変化を十分に認識し、保険者の共同体としての責務を念頭に、保険者支援の充実・強化に努めていく」との考え方を示した。

付領域」を共同利用する仕組みの導入に向け、引き続き取り組みを進めていくことを挙げた。また、新型コロナワクチン接種費用支払業務において3回目の追加接種に対応すること、第三者行為損害賠償求償事務では新たに求償版3%推進運動を設定し、さらなる取組強化に向けて保険者と連携を図ることなどについて説明した。

議事は、慎重なる審議の結果、29議案すべてが原案のとおり可決承認された。



その中で、保健事業の推進では、国において予防・健康づくり対策の強化が進められており、令和6年度までに「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」をすべての市町村で実施できるよう、高齢者セミナーやKDBシステムの円滑な活用に向けた保険者支援に取り組むこと、審査支払業務改革では、令和6年度の国保総合システム更改時におけるクラウド化や、支払基金新システムの「受



① 令和4年度事業計画や予算等について審議する出席者